

本會記事

總會前に於ける創立準備

大正三年六月八日今泉嘉一郎、倭國一、野呂景義、香村小録の四名會合し我國に於て鐵及鋼に關する事業の發達を助成する目的を以て一の協會を組織せんと欲し協議の結果

(一)該協會の主旨は日本に於ける鐵及鋼に關する一切の問題を研究し其事業の發達を期する事

(二)前項の主旨を實行する手段として

(イ)機關雜誌を發行すること

(ロ)協會の發展に伴ひ理化學的試驗所及參考品陳列所を設置すること

(ハ)學術上及經濟上時宜に適する研究調査を爲すこと

(三)會員の資格を鐵鑛探掘業者、鐵鋼製造業者及其加工者、鐵鋼使用者、鐵鋼販賣者、並に此等に關する技術者及従業者、其他鐵鋼に干繋ある特志者とする事

右大體の方針を定め其後前記四名の外服部漸氏主唱者として加入せられ五名共同して之を鐵及鋼に關係ある諸方面の人士に謀り共に發起人として協會の成立に努力せられんとを求めたるに忽ち多數の賛成を得發起人たることを承諾

せられたるもの五十有餘名に達せり

大正三年十月四日發起人會を開き今泉嘉一郎、田中不二、倭國一、堤正義、野呂景義、香村小録、寺野精一の七名出席し會名を日本鐵鋼協會とすることを議定し創立主意書及定款草案を作製せり

次て創立主意書及定款草案を印刷に付し發起人連名を以て之を諸方面に配付し會員募集を始めた

發起人たることを承諾せられたる人名左の如し

發起人

飯島 懿 男	井上匡四郎	井上禧之助
今泉嘉一郎	服部 漸	原田 鎮治
萩原 時次	西澤 公雄	堀 悌三郎
堀田連太郎	細井岩彌	布目四郎
大塚 榮吉	大木治吉	押川則吉
大島道太郎	和田維四郎	渡邊 渡
渡邊芳太郎	門野重九郎	加藤知道
川合得二	桂 辨三	金子増燿
横堀治三郎	横山久太郎	倭 國一
田中不二	堤 正義	中大路氏道
男爵 中村雄次郎	向井哲吉	宗像十郎
野田 鶴雄	野呂景義	久保田 權四郎
黑板傳作	葛 藏治	山田直矢
安田善三郎	牧田 環	牧野 立

松浦善助 香村小録 高壯吉

井上禧之助 今泉嘉一郎 原田鎮治

近藤壽一郎 江藤捨三 寺野精一

堀悌三郎 堀田連太郎 大塚榮吉

鮎川義介 有坂鉛藏 荒牧竹吉

渡邊渡 河合佐兵衛 川合保藏

雨宮亘 齋藤大吉 阪湛

河村驍 桂辨三 横山久太郎

阪田貞一 岸本吉右衛門 水橋義之助

大藤良雄 高村國策 高橋章藏

水谷叔彦 白石元治郎 島岡亮太郎

高木陸郎 田中不二 俵國一

日向庄作 平野豪 森岡平右衛門

瀧澤七郎 堤正義 梅田音五郎

守谷吾平 瀬尾巧

野呂景義 山本幸男 山内弘

大正四年一月十六日發起人會を開き今泉嘉一郎、横堀治

山内不二雄 山崎吉衛 安井健次郎

三郎、俵國一、野呂景義、黑板傳作、牧田環、香村小録の

牧田環 武藤三枝 香村小録

七名出席し來る二月六日午后三時より日本鑛業會に於て創

江浪常吉 寺野精一 青山與一

立總會を開催することを議定し尙定款草案及細則草案中左

朝倉希一 麻生音波 佐野清風

の各項に付て協議せり

阪田貞一 幸川茂助 水橋義之助

(一)本會を最初より財團法人とする事を見合せ先つ法人

島安次郎 森岡平右衛門 杉山清吉

に非らざる協會として成立せしめ或る時機に於て財團法人

君を座長に推し座長より從來の経過を報告し會員申込の數

若くは社團法人に變更する事

今日迄六百拾名に達し尙ほ續々申込ありて頗る盛況なるを

(二)評議員の數貳拾五名を四拾名に増加する事

喜ふ旨陳述あり了りて定款の議事に移り一月十六日の發起

(三)雜誌は最初の内隔月に發行し事務の整頓するを俟つ

人會に於て協議を経たる本會組織の件即ち本會を始めより

て毎月發行に改むる事

法人組織とするには認可の手續きに種々煩雜なる手續を要

創立總會

大正四年二月六日日本鑛業會樓上に於て創立總會を開く出

するを以て先つ當分の内法人に非らざる協會として成立せ

席者左記四十二名

しめ一ヶ年を経過し秩序定まるを俟て財團法人又は社團法

總會出席者

人に變更するを便とする事情を述べ之を議場に諮りたるに

満場一致賛成を表し茲に

本會の主義及性質に於ては異動なきも法人組織とする事を約一ヶ年見合す事

に一決したり右決議の結果定款草案に二三修正を要する點を生し

(一)本會を法人に非らざる協會として創立する事

(二)定款を會則と改むる事

(三)役員中監事を置くの必要なきを以て之を削除する事

其他適宜修正を要する條項あるも當議場に於て逐條審議を廢し大體に於て主義に變更なき限り字句の修正は勿論、

些少の補足改廢は之を一括して本日選舉せらるべき評議員に委任し評議員會の決議に依りて確定する事に一決せり

次に座長より評議員の數二十五名と云ふこと曩きに定款

草案に豫定したる所なるも其後會員の範圍諸方面に擴まり各其方面の代表的人士を評議員に推舉するの要あるを以て

之を四十名に増加せんとする提案を議場に諮り異議なく之を可決し是より評議員の選舉に移る

評議員の選舉は座長に一任するの提議ありたるを以て座

長は豫め發起人間に於て豫選したる左記四十名の人名を讀上げ之を護場に諮りたるに満場異議なく之を承認せり

今泉嘉一郎 服部 漸 原田 鎮治

萩原 時次 堀 悌三 堀田 連太郎

細井 岩彌 押川 則吉 大島 道太郎

渡邊 渡邊 芳太郎 門野 重九郎

桂 辨三 吉川 雄輔 横堀 治三郎

横山 久太郎 俵 國一 團 琢磨

田中 長兵衛 田中 不二 堤 正義

中大路 氏道 中村 雄次郎 野 呂 景義

野 田 鶴雄 葛 藏 治 牧 田 環

香村 小録 寺野 精一 齊藤 大吉

阪 湛 阪田 貞一 岸本 吉右衛門

水谷 叔彦 鹽田 泰介 島 安次郎

島岡 亮太郎 日向 庄作 森岡 平右衛門

森下 義央

會長は總會に於て選舉する規定なるも會長の選舉は重大

事なるを以て今日勿々之際之を決するの早計なるを慮り後

日評議員會の熟議に待たんとの提案あり異議なく之に決す

茲に於て前記評議員の出席者別室に會して理事五名を選

定し座長より之を總會へ報告せり

理事 長 野 呂 景義

理事 事 今泉嘉一郎 俵 國一

次に座長より今後會員各自の意見及種々事業上の實驗を

其成功と失敗とに拘はらず雜誌に發表して相互の参考に資

し斯業の發展に努められんことを勸告し

尙細則は評議員會に於て議決すべきものなるか故に配付

されたる草案に就て意見ある方は参考として提言あらんとを求め

又同草案中會費は三月及九月の兩度に納むる規定なるも總會を三月に開會する關係上會計年度を二月とし隨て會費の納期を二月及八月に繰上くへき必要を説き

此等は評議員會の決議に依るべき事項なるも豫め諸君の諒承を乞ふとの提言あり別に異議なく四時三十分閉會を告げ後茶菓の饗應ありて隨意退散せり

會則及細則の修正確定

大正四年二月十二日評議員會を工學會樓上に開き左記十三名出席

- 今泉嘉一郎 堀田連太郎 横堀治三郎
- 細井岩彌 香村小録 島安次郎
- 寺野精一 牧田環 河村驍
- 野呂景義 阪田貞一 田中不二
- 俵國一

總會の決議に基づき協議の上會則及細則を別記の通り修正確定せり

會長の推薦は尙評議員の詮考を要するものあるを以て後日に譲り當分の内理事長を以て會務を總理する事とせり

職員の推選

前記の評議員會に於て左の諸君を編輯委員、研究及通信委員に推選せり

編輯委員

- 石黒 豊君 川上 義弘君 河村 驍君
- 湊 一磨君 關口 八重吉君

研究及通信委員

- 伊藤 彖藏君 飯島 懿男君 林 密君
- 布目 四郎君 大野 宗平君 川合 得二君
- 上村 行榮君 直村 盛之助君 中田 義算君
- 向井 哲吉君 宗像 十郎君 栗田 金太郎君
- 牧野 立君 藤田 俊三君 江藤 捨三君
- 荒牧 竹吉君 佐野 清風君 齋藤 三三君
- 森 祐吉君 瀬尾 巧君 杉本 惣吉君

編輯會

大正四年三月六日第一回編輯會を工學會樓上に開き會誌編輯に關する事項を協議せり其出席員左の如し

- 野呂景義 今泉嘉一郎 俵國一
- 香村小録 石黒豊 川上義弘
- 河村驍 湊一磨

の諸君出席せり

大正四年三月十五日第二回編輯會を工學會樓上に開き左

- 野呂景義 俵國一 香村小録
- 石黒豊 河村驍 湊一磨
- 關口八重吉

日本鐵鋼協會々則

第一章 總 則

第一條 本會ハ日本鐵鋼協會ト稱シ事務所ヲ東京市ニ置ク

但シ必要ニ應シ支部ヲ設ク其位置ハ評議員會之ヲ定ム

第二條 本會ノ目的ハ鐵及鋼ニ關スル學術經濟其他一切ノ

問題ヲ研究調査シ本邦ニ於ケル該事業ノ改良發達ヲ期ス

ルニアリ

第三條 前條ノ目的ヲ達スル爲メ必要ニ應シ左ノ事業ヲナ

ス

一 會誌ノ發行

二 研究所ノ設置

第二章 會 員

第四條 本會ノ會員ハ左記資格ノ一以上ヲ有スル者ヨリ成

ル

一 鐵及鋼ノ製造者

二 同 加工者

三 同 販賣者

四 同 需要者

五 製鐵原料供給者

六 鐵及鋼ニ關係アル技術者及篤志者

第五條 會員ヲ分チテ名譽會員正會員及准會員トス

第六條 名譽會員ハ本邦鐵工業ニ關シ特ニ功蹟名望アル者

ヨリ評議員會ニ於テ推選シタルモノトス

第七條 正會員ハ評議員會ノ承認ヲ經テ入會スルモノニシ

テ規定ノ入會金及會費ヲ納ムルモノトス

第八條 准會員ハ理事ノ承認ヲ經テ入會セルモノニシテ規

定ノ入會金及會費ヲ納ムルモノトス

准會員ハ左ノ二項ヲ除クノ外凡テ正會員ト同一ノ權利ヲ

享有ス

一 總會ニ於テ決議ノ數ニ加ハルコト

二 本會ノ役員タルコト

第九條 本會々員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス者及會費滯納ノ

者ハ評議員會ノ決議ニヨリ之ヲ除名ス

第三章 役 員

第十條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

一 會 長 一 名

二 評議員 四十名

三 理 事 五 名

第十一條 會長ハ總會ニ於テ之ヲ選舉シ其任期ヲ二ケ年ト

ス

第十二條 評議員ハ總會ニ於テ之ヲ選舉シ其中少クモ半數

以上ハ在京會員タルコトヲ要ス

評議員ノ任期ハ二ケ年トス

第十三條 理事ハ評議員中ヨリ評議員ノ互選ヲ以テ之ヲ定

メ其任期ヲ二ケ年トス

第十四條 役員中欠員ヲ生シタルトキハ評議員會ニ於テ補欠員ヲ選舉ス但シ其任期ハ前任者ノ殘期間トス

第四章 役員職務

第十五條 會長ハ會務ヲ總理ス

第十六條 理事ハ會長ヲ補佐シ以テ互選ヲ以テ左ノ業務ニ

分任ス

一 理事長 一名

二 庶務及會計主任 二名

三 編輯及研究主任 二名

第十七條 會長事故アルトキハ理事長之ヲ代理シ若シ理事

長事故アルトキハ他ノ理事之ヲ代理ス

第十八條 評議員ハ總會ニ於テ議決スヘキ事項ヲ除クノ外

一切ノ會務ヲ評議決定ス但シ評議員會ノ決定スヘキ事項

ニシテ重要ナラサルモノハ其決議ヲ以テ之ヲ理事ニ委任

スルコトヲ得

第五章 會合

第十九條 總會ハ毎年春期ニ於テ之ヲ開キ事務及決算ノ報

告ヲナス

第二十條 臨時總會ハ評議員會ノ決議若シクハ正會員十分

ノ一以上ノ請求ニヨリ之ヲ開ク

第二十一條 總會ヲ招集スルニハ少クモ拾日以前ニ會議ノ

事項ヲ示シ會員ニ通告スヘシ但シ總會ニ於テ出席員四分

ノ三以上同意アルトキハ豫メ通告セサリシ事項ニ就キ議

決ヲ爲スコトヲ得

第二十二條 凡テ會議ノ議長ハ會長之ニ當ル

第二十三條 總會ニ出席シ能ハサル者ハ他ノ正會員ニ委任

シ議決權ヲ行ハシムルコトヲ得

第六章 入會金、會費及寄附

第二十四條 入會金ハ正會員ニ於テハ金貳圓、准會員ニ於

テハ金壹圓トス

第二十五條 正會員ノ會費ハ一ヶ月金五拾錢准會員ノ會費

ハ一ヶ月金三拾錢トス

第二十六條 一時ニ金壹百圓以上ヲ納ムル者ハ前條ノ會費

ヲ納ムルコトヲ要セス

第二十七條 何人タリ共本會ニ金員竝ニ物品ヲ寄附シ且ツ

其用途ヲ指定スルコトヲ得

第七章 會誌及通信

第二十八條 本會ノ目的ニ係ル有益ナル事項ヲ編輯シ會誌

トシテ刊行シ之ヲ會員ニ頒ツ

第二十九條 本會ハ會員ノ依頼ニ應シ外國及内地ニ於ケル

特種ノ調査報告ヲナスコトアルヘシ

第八章 研究所

第三十條 本會ニ研究所ヲ設ケ左ノ設備ヲナスコトアルヘ

シ

一 化學分析、組織識別、強力試驗等

二 參考品及商品見本ノ陳列

第九章 支部

第三十一條 支部ハ本會々則及細則ノ範圍内ニ於テ支部ニ關スル規則ヲ設定スルコトヲ得但シ評議員會ノ認可ヲ經ルヲ要ス

第十一章 資産

第三十二條 本會ノ資産ハ會員ノ入會金及會費並ニ本會ノ目的ヲ達スル爲メ寄附セラレタル金員及物品ヨリ成ル

第十二章 附則

第三十三條 本會則ニ規定セサル事項ハ別ニ細則ヲ以テ之ヲ定ム

第三十四條 細則ハ評議員會之ヲ議定ス

第三十五條 本會則ヲ變更スルニハ總會ニ於ケル出席員四分ノ三以上ノ同意アル事ヲ要ス

日本鐵鋼協會々則施行細則

○入會、退會、氏名並ニ住所變更

第一條 正會員タラント欲スル者ハ正會員二名以上ノ紹介ヲ以テ甲號申込書ニ倣ヒ本會ニ申込ムヘシ

准會員タラント欲スル者ハ會員ノ紹介ヲ以テ乙號申込書ニ倣ヒ本會ニ申込ムヘシ

第二條 入會ノ許否ハ正會員ニ於テハ評議員會、准會員ニ於テハ理事之レヲ定メ可決シタル者ノミニ對シ其旨ヲ通

知ス

否決シタルモノニ對シテハ其ノ否決ノ理由ヲ示サス

第三條 入會ノ承諾ヲ得タル者ハ直チニ入會金及會則第二十五條ノ會費ヲ納入スヘシ

第四條 退會セント欲スル者ハ書留或ハ内容證明郵便ヲ以テ其旨ヲ本會ニ申出ヘシ

退會申込者ニ對シテハ正會員ニ在テハ評議員會、准會員ニ在テハ理事承認ノ上其旨ヲ通告スヘシ

退會申込者ニシテ會費ノ滞納アル者ニ對シテハ十日間以上ノ期間ヲ定メ其納入ヲ催告スヘシ若シ指定ノ期間内ニ其義務ヲ果サ、ル者ハ直チニ之レヲ除名ス

第五條 會員中住所ヲ移轉シ又ハ氏名ヲ改稱シタルトキハ直チニ其旨ヲ本會ニ報告スヘシ

○役員及委員

第六條 評議員ハ毎年其半數ヲ改選ス

第七條 役員ハ豫メ推薦セラレタル候補者中ヨリ之ヲ選舉スヘシ

會長ノ候補者ハ評議員會、評議員ノ候補者ハ留任スル所ノ評議員ニ於テ之ヲ推薦ス

第八條 本會ハ前條候補者ノ名簿ヲ作り總會ノ日ヨリ少クモ一ヶ月前ニ之レヲ正會員ニ配付スヘシ而シテ正會員中

右候補者以外ニ尙ホ候補者ヲ推薦セント欲スル者アルトキハ其候補者ノ氏名ヲ本會ニ通知スヘシ

但シ其取捨ハ評議員會之ヲ決ス

第九條 評議員會ハ會員中ヨリ左記ノ常置委員竝ニ臨時調

査委員ヲ選任スルコトヲ得

一 編輯委員

二 研究委員

三 通信委員

第十條 編輯委員ハ必要ニ應シ時々會合シ會誌ノ編纂及一

切ノ編輯事務ヲ處理ス

第十一條 研究委員ハ各囑託セラレタル事項ニ付研究調査

シ時々其結果ヲ理事ニ報告ス

第十二條 通信委員ハ其擔任區域ニ於ケル事項ヲ理事ニ通

信ス

第十三條 研究、通信等ニ關スル諸費用ハ本會之ヲ負擔ス

但シ一時ニ金十圓以上ヲ要スル場合ニハ豫メ本會ノ承認

ヲ經ヘシ

第十四條 役員ハ凡テ名譽職トス但シ委員ニハ手當ヲ給ス

ルコトアルヘシ

○會 合

第十五條 總會ハ毎年三月之ヲ開ク其開會ノ目的、時日、場

所等ハ前以テ會誌ニ廣告ス

第十六條 評議員會ノ決議ニヨリ臨時場所ヲ定メテ講話會

ヲ開催スルコトアルヘシ

第十七條 評議員會ハ毎月一回之ヲ東京市ニ開ク尙ホ會長

若シクハ理事長ノ請求ニヨリ臨時之ヲ開クコトヲ得

第十八條 評議員會ハ十名以上ノ出席ヲ以テ成立ス但シ出

席シ能ハサル者ハ他ノ出席評議員ニ委任シ代理セシムル

コトヲ得

○會 費

第十九條 會費ハ毎年二月及八月ノ兩度ニ六ヶ月分ヲ前約

スヘシ但シ一ヶ年分ヲ前納スルモ妨ケナシ

新ニ入會シタル者ニ付テハ月割ヲ以テ次ノ徵收期迄ノ分

ヲ徵收ス

○研究所(但シ設備完了後)

第二十條 會員ハ別ニ定ムルトコロノ費用ヲ納メ研究所ニ

於テ自身臨場或ハ掛員ニ依頼シ諸種ノ試験ヲ施行スルコ

トヲ得

第二十一條 分析試験等ヲ係員ニ依頼シタル場合ニハ其成

績ニ付テハ當該掛員ノミ其責ニ任ス

第二十二條 會員ハ參考品及商品見本ヲ研究所ニ陳列スル

コトヲ得

但シ物品ノ種類竝ニ陳列場ノ都合ニヨリ陳列ヲ拒絕スル

コトアルヘシ

○會誌、通信、報告

第二十三條 本會ノ會誌ハ「鐵と鋼」ト命名シ定期之ヲ發

行シ會員ニ頒ツ

會誌ノ外有益ナル書類ヲ刊行シ無代若シクハ實費ヲ以テ

之ヲ會員ニ願フ事アルヘシ

第二十四條 會員ハ務メテ論說、報告其他會誌ノ資料ヲ本

會ニ寄送スヘシ其筆耕、通信ニ要スル費用ハ本會之ヲ負

擔スルコトアルヘシ

特ニ有益ナル論說等ヲ寄送シタル者ニハ其別刷三十部以

内又ハ金品ヲ贈與スルコトアルヘシ尙ホ贈與部數以外ノ

別刷ヲ希望スル者ニハ實費ヲ以テ其求ニ應スヘシ

第二十五條 本會々誌ニ會員並ニ會員以外ノ者ノ依頼ニ應

シ別ニ定ムル所ノ料金ヲ徴シ廣告ヲ掲クルコトアルヘシ

第二十六條 本會ハ會員ノ依頼ニ依リ外國及内地ニ於テ技

術上竝ニ商業上諸種ノ調査ヲ爲シ之ヲ依頼者ニ報告スル

コトアルヘシ

但シ之ニ要スル費用ハ依頼者ノ負擔トス

第二十七條 會員中百名以上ノ希望者アルトキハ鐵類及諸

金屬ノ相場竝ニ市況ニ付週報ヲ發行シ相當代價ヲ以テ其

希望者ニ之ヲ配付スルコトアルヘシ

○支部會

第二十八條 支部會ノ經費ハ各支部會ノ負擔トス但シ各支

部區域ニ於ケル會員ノ會費總額十分ノ一以内ヲ以テ其維

持費ヲ補助スルコトアルヘシ

○大正四年三月二十日現在會員氏名

(いろは順)

正會員

石原 正治 石田富次郎 今井武藏

今泉嘉一郎 飯島懿男 井上匡四郎

池上爲之助 井手又藏 井上禧之助

今村充三郎 一本木清三 今岡純一郎

伊藤久米藏 石黒豊 池島三省

泉 藤吉 井口常次郎 飯坂信治

磯井亥太郎 服部漸 原田鎮治

萩原時次 橋本千之助 林 明

林 一男 濱野繁藏 原 俊成

萩野友助 服部可一 橋本源吉

萩尾傳 萩與可 早川喜夫

林 密 新田起三 西山正吾

伴 圭一 西村小次郎 西崎鶴太郎

西澤公雄 堀 悌三郎 堀田連太郎

細井岩彌 堀 市次郎 堀田正一

堀 富太郎 本田定次郎 徳田孝茂

土井十三 鳥谷部末治 遠武鷹彦

豊島駒吉 徳永格 富田群太郎

鳥井太平 戸波親平 富田儀作

富田爲五郎	千葉直五郎	布目四郎	吉川雄輔	吉田正心	吉村鐵之助
沼田尙徳	大塚榮吉	大木治吉	横山要三	横山貞嗣	名俵 國一
大島道太郎	押川則吉	大森文亮	田中長兵衛	田中不二	高橋亦助
小田切延壽	大塚千代造	岡谷合資會社	高橋利吉	辰野 鏗	瀧澤七郎
大石源治	小川藏次郎	岡崎泰助	高松 誠	高木陸郎	田原久吉
落合畝三郎	小川乙吉	太田喜代次郎	高見復三郎	淡中晴海	田中徳五郎
大河内正敏	大野宗平	越智誠二	高橋章藏	田中長五郎	田中元槌
岡田雄次	大川戸藤吉	奥山 春	高城規一郎	大藤良雄	玉村勇助
小幡長太郎	沖馬 吉	小野崎五助	堤 正義	辻元謙之助	津田勝五郎
尾形次郎	岡本貫一	和田維四郎	津川熊吉	土橋長兵衛	塚山惣太郎
渡邊 渡	渡邊芳太郎	渡邊 徹	鶴岡奥松	辻 彌一郎	根 本 八
渡邊悌治	渡邊宗三郎	渡邊浩一	根岸政一	中大路氏道	中村雄次郎
渡邊三郎	門野重九郎	加藤知道	中田義算	永田五郎	中川健二
川合得二	桂 辨 三	金子増耀	長井又次郎	中野三夫	中村精七郎
河村 驍	神谷豊太郎	川井平太郎	中村辰五郎	中島三太	中井四郎
梶山又吉	河田勝治	上村行榮	内藤久寛	成田孝平	直村盛之助
川崎直右衛門	勝谷柳吉	景山 齊	來田房次	向井哲吉	宗像十郎
川本良吉	加茂正雄	川部孫四郎	村上喜代次	陸路 録	武藤三枝
河合佐兵衛	河合半兵衛	川合保藏	室井嘉治馬	村上 徹	村井信平
河合盛雄	川上義弘	加藤安五郎	村上正輔	上田 徹	内山 繁
金子與四郎	横堀治三郎	横山久太郎	梅地 璉造	梅根常三郎	鵜瀨新五
吉川 浩	吉田弟彦	米倉清族	内野久雄	梅田音五郎	植田六郎平
吉田佐太郎	吉村武三九	横田榮吉	梅岡正吉	梅岡平七	内田徳郎

宇野鶴太	野田鶴雄	野呂景義	小林運重	郷隆三郎	伍堂卓雄
野本清一	野尻狂介	野村三四郎	幸川茂助	近藤滋彌	小幡文三郎
黑板傳作	葛藏治	倉知鐸吉郎	小山幹也	後藤正治	小原春孝
隈崎佐太郎	久保萬	久保田省三	江藤捨三	遠藤隆太	江崎一郎
久保喜內	黑田泰造	久原房之助	江浪常吉	寺野精一	寺田章
久家平三郎	熊井基次	栗田金太郎	鮎川義介	有坂鋁藏	荒牧竹吉
黑田恒馬	山田直矢	安田善三郎	雨宮亘	荒木勉三郎	荒谷正三
矢幡健五	山内不二雄	山田銑太郎	麻生音波	荒木道	青山與一
安井健次郎	山田正雄	山下成一	秋山正八	朝倉希一	淺井倍之助
山崎吉衛	山内政良	山田高	朝比奈幸太郎	朝吹常吉	麻生昇
山本幸男	山本榮太	山田鑑雄	秋山章一	齋藤大吉	阪井重助
山口勝藏	山田眞吉	牧田環	阪田貞一	澤茂三吉	櫻井重助
牧野立	増田喜太郎	町田幸吉	齋藤奎	佐藤政一	齋藤三三
松島喜市郎	松井定一郎	増田政治	坂井富太郎	佐藤幸次郎	作間綱太郎
松野千勝	松下長久	前田一	櫻井三郎右衛門	榊明一	佐野清風
前田薰郎	松浦和平	藤瀬政次郎	佐野菊次郎	齋藤浩介	佐川榮次郎
古田俊之助	藤本元治郎	舟橋了助	齋藤省三	岸本吉右衛門	木村商事合名會社
福田馬之助	藤本磐雄	船津守造	岸原重治	木村齋雄	岸昇
福原俊丸	藤村忠己	深川喜作	木村正夫	湯淺鐵鋼店	明治電氣株式會社
古川豐雄	藤井寛	藤田俊三	水橋義之助	水谷叔彦	宮崎豐作
藤岡友治	小布施順次郎	小島喜久馬	三木善太郎	箕田亥三次	宮崎茂三
小林四郎	小泉一義	小泉二朗	宮崎虎一	白石元治郎	島岡高太郎
香村小録	高壯吉	近藤壽一郎	重松養二	白仁武	斯波權太郎

柴岡喜一郎 鹽見政次 鹽田實造 八名正己 原儀一郎 原田公

城正俊 鹽川 弘 清水孝吉 原淺七 橋本亨 羽島金三郎

斯波忠三郎 鹽田泰助 清水要藏 長谷川仁助 萩原吉二 濱田清七

斯波孝四郎 島安次郎 日向庄作 林此衛門 腹卷五郎 春信孝

平野豪 久野次郎太郎 日根野太作 原清太郎 西垣健三 庭田隆吉

平川良彦 檜山捨次郎 比企彰 西村芳太郎 堀井源作 本多杉松

日野松太郎 森岡平右衛門 森野正之 堀江友三郎 堀田順造 紅谷藤次郎

森彦三 森下義央 森祐吉 東野治三郎 鳥越治三郎 東常任

守谷吾平 瀨尾巧 仙倉增藏 千葉鍊六郎 力身萬吉 沼清一

關口八重吉 鈴木虎之助 砂田索平 小笠原巖 小笠原清治 岡田末吉

杉山清吉 杉本惣吉 鈴木重義 岡克己 岡庸三 奧保彦

鈴木正夫 末兼要 鈴木定一 岡山寬 大隈稻次郎 岡良太郎

杉本喜市 鈴木尙友 末廣恭二 小原彦太郎 小川慶彦 大塚藤三郎

准會員 伊能莊二郎 井上虎藏 大熊尙次 岡野正雄 小川秀吉

伊香賀照治 今梅之助 石原政治 小川嘉樹 尾崎真一 大井廣一

石川重遠 今福嘉作 石原熊吉 大河保治 大原康三 大森團次郎

井原正人 石原善平 井上順三 渡邊富次郎 渡邊新 渡邊豐

石澤命春 石部喜熊 市川春吉 河原田稻夫 河田源六 加藤光享

石原米太郎 伊藤宅治 池田健六 勝本忠兵衛 桂小又 河野順助

池田藤太郎 石原宗三 飯島作藏 加藤孝治 川野正喜 金澤僊平

今田強造 入江定男 六角三郎 加藤宏信 加藤成一 川上藤之亟

井上克己 秦源次 林新藏 河中伊三郎 金子恭輔 神原太吉

八丁目信義 秦源次 林新藏 河中伊三郎 金子恭輔 神原太吉

八丁目信義 秦源次 林新藏 河中伊三郎 金子恭輔 神原太吉

河添安次郎	加藤仁平	上村行考	上田甚太郎	内川俊雄	宇敷真鋤
吉田五郎	吉松民次郎	吉武一三	内川淺吉	上田茂左衛門	有働重斌
吉田準三	吉田長三郎	吉田磯吉	牛尾又造	能村磐夫	野村健彦
吉田熊三郎	多田藤吉	宅野義博	野崎榮	野本新八	能美勝
田原友輔	田原清作	田畑農夫	野田往來	野田良二	野村靜
瀧川長雄	高椋正雄	田中藤造	久茲維四郎	熊谷直巳	久保金槌
高木紋壽	武本高太郎	高山正寛	郡司盛文	桑原與三	神代精二
竹股武次郎	多田久三郎	田中金三郎	榑林篤夫	久我秀雄	熊谷卯之助
田上禎吉	高野氣次郎	高宮一士	黒田馨	日下寅次郎	山村理一
武谷金助	辰巳英一	谷本四郎	山川正治	山田長太郎	山本藤助
土田庸治郎	津守猛	津田次郎	山中忠一	矢夕部萬六	安川秀夫
根本茂	長澤政治	南部麒次郎	山室銓一	山本米藏	山崎利
中本勝治	中野康也	中島親之	山口伊三郎	山近篤	安並敏男
永松秀夫	中野藏太郎	中野昌夫	安田敬之進	山屋巧一	山内弘
永野善盛	繩田駒之助	中島正之	柳原隸次	山崎次太郎	山田豊
永田敬輔	中島仙次	成瀬澄三郎	安増直七	牧武雄	松浦善助
内藤達	中村延太郎	内藤美啓	増田伊作	牧野馬若	松浦道徹
中村順喜	中野弘策	中村健吾	間島三次	松木又二郎	松尾福太郎
中園甚太郎	中川原肇	中山岩吉	松林源作	松島衛次郎	松本萬太郎
梅野實	村杉健治郎	無津呂作一	蒔田宗次	増澤信作	増野喜市
向井辰治	村田二次郎	村上英男	船越徳三郎	藤野篤之	古城戸虎雄
村松辰五郎	武藤金彌	村松橘太郎	古野茂兵衛	藤田善三郎	深井庄治郎
内山福造	内海幸太郎	内田圖之一	福井喜三郎	小林文郎	後藤尙

後藤 巖	小松幸太郎	小山 磐	實 敏 夫	滋賀不二夫	鹽見義夫
兒玉 晋 匡	權藤 薰平	高 良 淳	調 榮太郎	莊原和作	秀島又彦
小西捨三郎	近藤龍次郎	小山龜槌	東 庄右衛門	平松善三	平野利道
郷 義二郎	小林智教	小島成治	東田隼之助	平田又左衛門	久富政太郎
小松 米治	古賀作次	古賀源藏	久野秀太郎	森 重 候	森 定 槌
古賀仁三郎	古賀正助	江口作市	諸岡才兵衛	森 俊 三	關 留五郎
衣非安之助	江口貞吉	衛藤 徹秀	鈴木十内	末吉東四郎	鈴木正治郎
遠藤秀太郎	出羽善治	荒木田彦太郎	鈴木文衛		
足立 丈夫	荒 木 宏	淺野貞次郎			
青木 正明	安倍三郎	阿武介三			
齊藤平太郎	齋藤忠八	佐藤宗三郎	大正四年三月廿七日印刷		
笹本菊太郎	佐々木權市	佐藤好美	大正四年三月三十日發行		
齋藤 貞一	齋藤 明親	佐々木重雄			
櫻井 爭三	坂田福三郎	佐藤英雄	編輯者兼發行者	日本鐵鋼協會	
岐亦全兵	北川正太郎	北島定夫	東京市京橋區山城町十五番地		
岐部 孫作	北川定記	城戸五郎	東京市本郷區駒込淺嘉町六十三番地		
金 其 重	木村弘人	岐部節司	右代表者	香 村 小 錄	
湯淺十一郎	由布三郎	嶺脇秀德	東京市神田區美土代町二丁目一番地		
宮崎 廣松	宮川治郎	湊 一磨	印刷者	島 連 太郎	
宮崎民次郎	三俣留吉	見邊亮太	東京市神田區美土代町二丁目一番地		
宮岡延一	水越政雄	庄崎熊吉	印刷所	三 秀 舍	
志田 富作	柴田伊右衛門	下村正道	發行所	日本鐵鋼協會	
神保敏男	清水 清	清水一二雄	東京市京橋區山城町十五番地		

(非賣品)

發行所 日本鐵鋼協會
 振替貯金口座東京一九三番